行政常任委員会会議録
〔平成 23 年第 1 回定例会市議会付託〕
平成 23 年 3 月 24 日(木曜日)
午前 10 時 30 分開議

◎付託案件

- (1) 議案第 1 号 平成23年度夕張市一般会計
予算
- (2) 議案第 2 号 平成23年度夕張市国民健康
保険事業会計予算
- (3) 議案第 3 号 平成23年度夕張市市場事業
会計予算
- (4) 議案第 4 号 平成23年度夕張市公共下水
道事業会計予算
- (5) 議案第 5 号 平成23年度夕張市介護保険
事業会計予算
- (6) 議案第 6 号 平成23年度夕張市診療所事
業会計予算
- (7) 議案第 7 号 平成23年度夕張市後期高齢
者医療事業会計予算
- (8) 議案第 8 号 平成23年度夕張市水道事業
会計予算
- (9) 議案第 16 号 夕張市特別会計条例の一部
改正について
- (10) 議案第 18 号 夕張市営住宅条例の一部改
正について
- (11) 議案第 20 号 夕張市公設地方卸売市場
管理基金条例の制定について

◎出席委員 (8 名)

高 間 澄 子 君
伝 里 雅 之 君
島 田 達 彦 君
角 田 浩 晃 君
正 木 邦 明 君
高 橋 一 太 君
新 山 純 一 君
加 藤 喜 和 君

◎欠席委員 (なし)

◎出席参与

市長、副市長、松倉監査委員、教育委員長、教育
長、理事、消防長のほか、関係の室長、課長等

午前 10 時 30 分 開議

●角田委員長 皆さんおはようございます。

ただいまから行政常任委員会第 2 日目の会議を開
催いたします。

●角田委員長 本日の出席委員は、8 名全員であ
ります。

ほかに、議長が出席されております。

また、参与の出席については昨日と同様でありま
す。

●角田委員長 それでは、昨日まで大綱的な質疑
を終えておりますので、これより各会計予算案の審
査に入ります。

初めに、一般会計であります。事項別明細書に
より、歳出から審査をさせていただきます。

それでは、53 ページをお開き願います。

1 款議会費、54 ページまでであります。

〔発言する者なし〕

2 款総務費、55 ページから 71 ページまで。

島田委員。

●島田委員 総務の 57 ページ財産管理費をお伺
いたします。13 節の委託料、除雪委託料、昨年ま
でなかったような気がしたんですが、この辺はど
この除雪の委託になりますでしょうか。

●角田委員長 総務課総括主幹。

●三浦総務課総括主幹 この件につきましては、
一つは梅ヶ枝通りにある旧美登利の除雪、それから
本町にごございます旧小林本舗という半分使ってない
建物があるんですが、それらを含めた職員の手では
なかなか除雪が困難と思われる危険な建物について

除雪を委託しようとする経費でございます。屋根の雪下ろしの除雪経費でございます。

●角田委員長 よろしいですか。よろしいですか。高橋委員。

●高橋委員 今の答弁ですけれども、それは今言った具体的な所っていうのは、何か市の財産管理に伴う所っていう枠に入ってるんですか。

●角田委員長 総括主幹。

●三浦総務課総括主幹 申し上げました美登利等につきましては、市が所有している建物でございます。旧美登利の建物、それから小林本舗も市が所有している建物の投棄における危険と思われる屋根の雪下ろし経費でございます。

●角田委員長 よろしいですか。ほかに総務ございますか。

伝里委員。

●伝里委員 同じく 17 節公有財産購入費なんですけれども、57 ページです。土地購入費だと思うんですが、概ねどの辺の事を言ってるんでしょうか。

●角田委員長 総括主幹。

●三浦総務課総括主幹 この経費につきましては、中身が二つに分かれております。

一つは、土地開発公社が所有しております土地の計画的な買い戻しを再生計画にも載っている中身で計画的に土地を買い戻していく経費がございます。こちらの中身が 3 億 8,451 万 3,000 円、それと、もう一本が債務負担行為で計上しているものがありまして、これ過去に取得した団地等の六件の債務負担行為が総務の財産管理費の分としてございまして、これが 1 億 7,117 万 9,000 円の二本が計上されております。公社から買い戻しする土地については今年 33 筆計画どおり予定されております。

●角田委員長 よろしいですか。

ほかに総務。

加藤委員。

●加藤委員 同じページの 57 なんですけれども、その上の工事請負費で不用公共施設除却工事 5,148 万 2,000 円という事で、臨時費で鹿の谷小学校という

ふう聞いていますけれども、それで、ほかにこれ一本だと思うんですけども、ほかにそういう大型っていうのか、小さいのは別として今後予測されるものがあるのかなのか、そして、尚且つその場合に鹿の谷小学校が今回計上されたという経緯も含めてお知らせ願いたいと思います。

●角田委員長 総括主幹。

●三浦総務課総括主幹 ご質問のありました不用公共施設除却工事費 5,148 万 2,000 円につきましては、ご承知のとおり旧鹿の谷小学校の解体除却するための経費でございます。この不用公共事業につきましては、再生計画におきまして平成 22 年度、23 年度を予定しているものでございまして、昨年は旧清陵小学校を解体済みでございます。今年につきましては鹿の谷小学校、この鹿の谷小学校の選定の理由なんですけれども、この建物につきましては過去に校舎の屋根の鉄板が飛散する、或いは校舎の屋根から溜まった雪が富野じん茶焼却場へ通じる道路に落下するなどの事故が起きた経過がございました。また、近年は内部の老朽化が非常に進みまして、雨漏り等により廊下が腐食し極めて危険な建物の状態となっている。或いは、その事によって担当課の方では立ち入り禁止の措置をしているところがあるんですけども、それにも関わらず無断で内部に人が侵入した形跡が何度か発見されるなど事件、事故の防止等の観点から、或いはまた市民生活に影響が及ぶ事のないように緊急且つ必要性が高いと判断しまして本年度実施するものでありますし、財源的にも非常に大きなものが伴うところではあったんですけども、本年度空知産炭地域総合発展基金の財源が見込まれるという事で今年度実施する事といたしました。

もう一点残り大きなものがあるのかというご質問ですけれども、市内にはいろいろ使われていない建物等々が多くまだ存在しますが、1,000 万以上もかかる予想される大きな建物としては旧清水沢小学校、JR 清水沢駅の向い側の丘の上に建っている古い古い清水沢小学校の校舎、木造校舎ですが、これが一

つ残される事となりますが、先ほど申し上げたとおり優先順位等を総合的に勘案した上で本年度は鹿の谷小学校の解体をするという事の予算を組まさせていただきます。

以上でございます。

●角田委員長 加藤委員。

●加藤委員 私どもも確か鹿の谷小学校の本校舎の方の雪が道路に落ちてくるという事で前にも論議した経過があると思いますんで、そういう意味も含めて緊急性があるという事だと思うんですけども、

それで、大型的には旧清水沢小学校があるという事なんでしょうけども、これ財源見てますと一般財源も使わざるを得ない状況になってると、5,100万という事でこれは今後の事ですけども、これからその大型施設が不用になりそうな部分があるんで是非とも有効活用できるように、できれば売却していただけるように努力をお願いしたいと思うんですが。

それで、財源の中で、特定財源の中で今発展基金と言いましたけどそのほかハンカチ基金が120万ほどあるというふうに聞いているんですが、これはいわゆる特定寄附という事の中の予定なんですか。

●角田委員長 総括主幹。

●芝木地域再生推進室総括主幹 ただいまのご質問でございますが、ハンカチ基金の中で特定事業を指定した寄附の中で校舎取り壊し費用の一部としてという事業がございます、その寄附を活用させていただいております。

●角田委員長 よろしいですか。はい。ほかに総務ございますか。

伝里委員。

●伝里委員 今の関連なんですけれども、今年になって屋根の壊れた鹿の谷の元額縁工場なんですけど、あそこもかなり大型だと思うんですがあれも1,000万以上かからないで解体できるという事でいいんですか。

●角田委員長 総務課総括主幹。

●三浦総務課総括主幹 その件につきましては、前回の行政委員会でもご指摘ありまして当面のご報

告をさせていただいているところでありますが、まだ実際のところ雪深くて近くに立ち寄れない状況が続いております。それで、今のところ緊急に近くに住宅があるとか、住民生活に及ぶという危険性が低いと思っております、雪解けを待つて現地をもう一度見て必要な見積りなりを取った上で、あと財政的に見積りなり財源がどういった措置ができるのかという事も踏まえながら、これはちょっと今お答えできる内容でございませぬが今後の問題とさせていただきます。

●角田委員長 よろしいですか。はい。ほかに総務課ございますか。

議長。

●山本議長 私から鹿小の解体にあたって、あれ校長住宅も一緒にやっちゃうんですか。校長住宅も一緒にやるの。鹿小の解体にあたっては、あそこに校長住宅もあるんだよね。それも入ってんのかな予算に。

●角田委員長 総括主幹。

●三浦総務課総括主幹 隣接する建物なのでできればやりたいなと思って、ちょっとそこ未確認ですので後ほど知らささせていただいてもよろしいでしょうか。

●角田委員長 はい。

●山本議長 それと合わせて、解体する時にあたって業者の方をお願いしていただきたいのは、実は閉校記念碑とかあるんですよ、昔からあるあの管理の状態、そのまんま放置になってんだけど、思い出のあるものなんで、解体にあたっては十分留意して損害を与えないように工事していただきたい事だけ申し入れしてもらいたいと思いますのでよろしく願いいたします。

●角田委員長 よろしいですか。ほかに総務ございますか。はい、続いてまいります。

3 款民生費、72 ページから 82 ページまで。

〔発言する者なし〕

4 款衛生費、83 ページから 90 ページまで。

島田委員。

●島田委員 89 ページお願いします。じん芥処理費であります。じん芥収集が昨年度より 1,400 万円ほど減となっており、リサイクル容器収集が約 600 万円ほどプラスとなっております。22 年の 7 月からリサイクル 10 品目に増えてると思うんですが、その辺のゴミの減量なのか、また人口の減少による全体的な削減なのか、その辺お願いいたします。

●角田委員長 市民課長。

●天野市民課長 じん芥処理費のじん芥収集委託料でございますけども、これ平成 23 年度につきましては、昨年までは 3 台体制を今度 23 年度から 2 台体制の予算で組んでおります。

それと、リサイクルの方につきましては、当然リサイクル回収が今度 4 月から始まりますので 12 カ月分という事で昨年より予算が多くなっております。

以上です。

●角田委員長 よろしいですか。

●島田委員 はい、いいです。

●角田委員長 民生費ですか。はい、許します。
高間委員。

●高間委員 78 ページですね。児童福祉総務費の中で学童保育費の運営経費が 126 万 8,000 円ってこういうかなり増額な部分があるんですけども、考えとして若菜中央小の学童保育が福祉センターを建てるまでこの社協に間借りというか、お借りをするという事なのかなというのは理解できるんですけども、この増額の部分がちょっとどの金額がどこに入っているのかっていうのがちょっと出てきていないので、その部分ちょっと説明お願いしたいと思っております。

●角田委員長 福祉課総括主幹。

●松本福祉課総括主幹 今お話しありましたとおり若菜の老人福祉会館で行う経費とそれ以外に昨年学童保育の時間を延長して 5 時半から 6 時までとじておりますが、その時には当初予算にその経費を載せてませんでした。今回新たにその延長に係る分についての予算を計上いたしまして、それに係る経費との合計でございます。

以上でございます。

●角田委員長 よろしいですか。

高間委員。

●高間委員 ここに消耗品とかいろいろ出ているその科目別にちょっと教えていただければと思いますけど。

●角田委員長 総括主幹。

●松本福祉課総括主幹 今のお話しですが、具体的に言いますと科目別という事ですね。まず、雇用保険料なんですけどその合計が 10 万 1,000 円になります。健康保険料が 30 万 3,000 円、そして厚生年金保険料が 52 万 4,000 円です。これが共済費になってます。賃金ですが、これは 18 万 9,000 円という事です。需要費の方は消耗品が 15 万円、燃料費が 13 万 9,000 円、光熱水費は 5 万 6,000 円、そして役務費が通信運搬費 7 万 5,000 円、手数料 1,000 円、傷害保険料が 3,000 円になってます。次、委託料なんですけど、支援費の委託料として 64 万 6,000 円となっております。これが先ほど言いましたように時間の延長に係る分という事になります。次、使用料及び賃借料ですが、複写機の使用料が 2 万 4,000 円、これは賃借料ですね。賃借料 2 万 4,000 円。使用料が 44 万 7,000 円となっております。

以上でございます。

●角田委員長 高間委員。

●高間委員 この委託料っていう事なんですけども、保育支援業務委託料っていうのは、これは若菜中央小学校でしてた時もあったと思うんですけども。

●角田委員長 総括主幹。

●松本福祉課総括主幹 昨年度から時間延長しまして、その延長に係る支援員をシルバー人材センターの方をお願いしております、その分の金額になるんですけど、昨年は当初計上ギリギリになって決まったもんですから予備費で対応しております、その分を今回当初で計上させていただいたという事でございます。

以上です。

●角田委員長 よろしいですか。それでは衛生費に戻ります。

伝里委員。

●伝里委員 すいません。元へよろしいでしょうか。

●角田委員長 民生費ですか。はい、許します。

●伝里委員 本当申し訳ありません。

72 ページ社会福祉総務費、19 節負担金補助及び交付金ですが、社会福祉協議会事業費補助なんですけれども、去年は 3,000 万ほど計上されてました。今年の予算では 721 万 7,000 円ほど減額になっておりますが、これはどういった理由でしょうか。

●角田委員長 福祉課総括主幹。

●松本福祉課総括主幹 昨年、職員の退職に伴いましてその退職金を計上していたものです。

その分が減額になったという事でございます。

●角田委員長 よろしいですか。それでは衛生費に戻ります。

高橋委員。

●高橋委員 86 ページの共同浴場費なんですけれども、いろいろ修繕料ですとか消耗品等々内訳は記載されてるんですけども、特にこの中で修繕的に関わる部分で当面いま緊急的に何かをしなければいけない修繕っていうのは、この市営浴場 4 施設の中で何か具体的な項目があるのかなのか、その部分ちょっとまず教えていただきたいと思います。

●角田委員長 市民課長。

●天野市民課長 修繕料でございますけども、全体で 149 万 1,000 円という中で当面実施しなきゃならないのは 4 浴場のボイラーの定期点検、これが 85 万 4,000 円みております。

それと、ボイラーの缶体整備という事でこれ南清浴場の缶体整備なんですけど、これを実施しなければならぬという事で 13 万 7,000 円の予算を組んでおります。その他につきましては一般修繕という事で全体で 50 万円の修繕費をみております。

以上でございます。

●角田委員長 高橋委員。

●高橋委員 共同浴場に関して以前から議会としての視察等々行っていきながら、その都度その都度の部分で出来る範囲の中での修繕、改修という部分を求めてきた経過がございます。

それで、今回こういう形で今言われたボイラー一点検含めた修繕を含めて実施をされていく予定という事になってるんですけども、いずれにしても全てとはいいませんけれども、その殆どの浴場がやはり老朽化に伴っていろんな部分で修繕を伴ってくる部分は今後予想されてくるんですけども、その辺今後に渡っては特に大きく予想されるような大型補修っていうのは何か現時点で掴んでいるのかどうか、その辺は特に老朽化してるとこの施設というのは言わなくてもおわかりだと思いますけれども、その辺を見込んで、また今後当面課題する部分何かもし今の段階で詳細を押さえているのであればその辺もちょっとお示しいただければと思っておりますけども。

●角田委員長 市民課長。

●天野市民課長 浴場の修繕につきましては、平成 22 年度の 9 月補正、12 月補正で今後直さなければならぬ分大きな修繕というのは補正しまして全体で直しております。今後につきましては今わかる部分では予算に組みましたけども、今後施設自体が老朽化しておりますのでどこ発生するかわかんないという状況であります。今後状況を見ながら必要に応じて修繕していかなきゃなんないかというふうに考えておりますので、現段階においては早急に直すという所は押さえておりません。

以上でございます。

●角田委員長 よろしいですか。はい。ほかに衛生費ございますか。はい、進みます。

5 款農林業費、91 ページから 93 ページまで。

[発言する者なし]

6 款商工費、94 ページから 96 ページまで。

高橋委員。

●高橋委員 94 ページ商工振興費の交流定住人口・産業活用コーディネーター育成委託料、これ 2,200 万次年度も計上されております。これ、とりあ

えすまず 1 年 1 年の委託という事でありますから、一応 3 カ年の実施にわたっての当初計画だったと思えますけれども、一応以前も委員会等々の中で聞いていく中で 1 年 1 年度その実績報告を踏まえて、そして、それを継続するかどうかという事で見極めていくという判断で回答いただいていた筈なんですけれども、まず今年度の部分、まもなくまだ数日ございませけれども、そうはいえども今年度の実績報告含めて何か委託の先からは上ってきてるんでしょうか。まずその部分お聞かせいただきたいと思えます。

●角田委員長 総括主幹。

●芝木地域再生推進室総括主幹 高橋委員今おっしゃったように委託期間が 4 月 1 日から 3 月 31 日までという事で全体的な報告については 3 月末日をもっていただく事になっておりますが、2 月末日までの、4 月 1 日から 2 月末日までの期間における報告という事で暫定的なものをいただいております。

●角田委員長 高橋委員。

●高橋委員 これ名目上は、交流定住人口及び産業活用コーディネーターですとか観光全般にわたる窓口、そういった部分の活用という事なんですけれども、特にこの定流人口、交流人口含めて後は産業活用ですね。そういった部分の一定の効果っていうのは何か具体的にお示しいただきたいと思うんですけども。これを今開設している事で具体的に目に見えた効果というものは何なのか。その辺お示しいただければと思えます。

●角田委員長 総括主幹。

●芝木地域再生推進室総括主幹 まず交流、定流人口の観点からいきますと、夕張に如何にお客様に来ていただくか、また定住という事も含めてなんですけれども。そういった意味で夕張の紹介という事で夕張の観光ホームページ、これを立ち上げていただいております。こちらについては、月別で 3 万件、月ごとですね。平均で約 3 万件のアクセスがございませ。こちらの方は、平成 21 年度と比べて倍になっておりまして、こういった事からも効果が得られるものと考えております。また、合宿等についても昨

年誘致活動行いながらやっておりましたけども、今年そういった形で、合宿で計 300 名程度の合宿人数を呼んでおります。こちらの成果としましてですね。

以上です。

●角田委員長 高橋委員。

●高橋委員 これ予算委員会でありますから、次年度における審査という事になりますけども、ちょっと交流・定流人口という部分の観点でお聞きしますけども、一つは例えば 2 月でとりあえず当面の実績報告は今上げられてきてるっていう事なんですけども、例えばそちらの方からなのか行政側かは別としても、交流定住人口の市の例えば観光動員数或いは定住人口、滞在人口も含めて、こういう人間的なものを押さえてはいるんでしょうか。

●角田委員長 総括主幹。

●芝木地域再生推進室総括主幹 市に訪れた観光人口という事でよろしいでしょうか。

それであれば 22 年度につきましてははまだ年度途中でありますのでデータは揃っておりませんが、4 月から 9 月までのデータという事ではお示しできます。22 年度 4 月から 9 月までが 51 万 3,000 人、21 年度には同じく 4 月から 9 月までが 57 万 9,000 人という事で約 90 パーセントとなっております。ただ、21 年度につきましては花畑牧場の関連がありましたので、そういった事から差し引いても落ち込みとしては許容できる範囲なのかなと考えております。以上です。

●角田委員長 よろしいですか。ほかに商工費ございませか。

高橋委員。

●高橋委員 それともう一つなんですけども、同じく同ページで観光費の委託料で外国人観光客利便性向上業務委託料っていうふうに計上されておりますけども、これわからないんで聞くんですけども、具体的に外国人を迎え入れる上での受け入れとしての方を委託されていると思うんですけども、これ外国人といっても世界各国ございませから、どの辺を対象にした外国人いわゆる英語が話せるのか、何語

が話せるのか含めて、この辺はどの辺をターゲットにした外国人をターゲットにしているのかちょっとお示しいただければと思います。

●角田委員長 総括主幹。

●芝木地域再生推進室総括主幹 今の外国人観光客利便性向上事業でございますが、こちら道の 100 パーセント補助事業であります緊急雇用創出推進事業を活用した事業でございます。そちらを活用しまして外国語が堪能な職員を雇用する。その職員を市内の観光事業者の方に事業者との調整を図ってそのニーズに応じて派遣をするという業務を委託する事業でございます。想定する外国語に関しましては、これも市内に訪れる外国の方、中国語がいいのか英語がいいのかという事も含めて観光事業者と調整を図ってまいりたいと考えております。

●角田委員長 高橋委員。

●高橋委員 ちょっとごめんなさいね。この方というのは通常はどちらに置こうとしているのか、その辺ちょっとお聞かせいただければと思いますけど。

●角田委員長 総括主幹。

●芝木地域再生推進室総括主幹 置く先を委託として公募をかけようと思っておりますのでまだ決めておりません。

●角田委員長 高橋委員。

●高橋委員 要はじゃあれですか。あくまでも勿論これ次年度というか 23 年度の事業ですから、置く先はもまだ決まってない状況であるけれども、一応こういう方を受け入れるという事での今提案ですね。ですから、まだじゃどこに所在を、どこの場所に置くかも含めてまだ具体的にそこは想定されていないという事なんです。そこがちょっと見えなかったもんですから、単純に役所内、庁内に置くのかそれともホテルとかそういう所に置くもんなのか、その辺がちょっと見えてこなかったもんですから、その辺をちょっと聞きたかったんですけど、じゃまだ決定されてないという事なんです。

●角田委員長 室長。

●石原地域再生推進室長 お答えします。

先ほども申しましたように財源としまして緊急雇用創出事業交付金というのが張り付いております。まず、夕張市の観光等の地域振興に関する事業としてはこの交付金を使って事業を行う事が必要だろうという事で、まず申請をして決定、予定を見ているところでございます。

それで、今後具体的な事については決めていくと、進めていくという事になります。

以上です。

●角田委員長 よろしいですか。ほかに商工費ございますか。進みます。

7 款土木費、97 ページから 106 ページまで。

伝里委員。

●伝里委員 106 ページ 22 節移転補償金のところなんですけれども、何件ぐらいを予定していて 1 件当たりいくらぐらいを見ているんでしょうか。

●角田委員長 建設課長。

●細川建設課長 約 50 件を見込んでおります。

●角田委員長 50 で割るという事でよろしいでしょうか。

課長。

●細川建設課長 1 件当たり平均 15 万で 50 件分を見込んでおります。

●角田委員長 よろしいですか。はい。ほかに土木費はございますか。はい、進みます。

8 款消防費、107 ページから 110 ページまで。

[発言する者なし]

9 款教育費、111 ページから 125 ページまで。

高間委員。

●高間委員 116 ページの 7 節と 119 ページの 7 節賃金の問題なんですけれども、児童生徒のバス通学添乗員賃金と思うんですけれども、小学校、中学校のこの賃金に計上されていると私は理解するんですけれども、それぞれの金額とそしてまた人数とどれぐらいの期間でこれ金額計上されているかちょっと教えてください。

●角田委員長 教育課長。

●秋葉教育課長 お答えいたします。

小学校管理費の 7 節賃金につきましては、ゆうばり小学校の用務員、臨時用務員にかかる賃金 2 名分を計上をしているところでございます。バスの添乗員の賃金の関係ですけども、一般管理費の 113 ページの 7 節賃金、ここに 37 万 5,000 円を計上しております。内訳でございますが、路線バスに添乗する賃金という事で 9 名 1 カ月分をみているところでございます。

●角田委員長 よろしいですか。

高間委員。

●高間委員 もう一点あるんですけども、あと通学児童見守りシステムというのが始まると思うんですけども、この運用されていくと思うんですけど、その経費がどの科目にいくら計上されているのかもちょっとすいませんが教えていただきたいと思っております。

●角田委員長 課長。

●秋葉教育課長 お答えいたします。

地域 ICT 活用広域連携事業という事で児童の見守りに関わります費用でございますけども、システムの運用の手数料という事で一般管理費の方に。ちょっとお待ちください。一般管理費 113 ページの役務費、手数料 129 万円、これが ICT に関わります部分の費用でございます。

以上です。

●角田委員長 高間委員よろしいですか。はい。

ほかに教育費ございますか。

島田委員。

●島田委員 113 ページ一般管理費、スクールバス運行委託料なんですけど、昨年度より 45 万円ほど増加していると思うんですけど、その要因をちょっとお願いします。

●角田委員長 課長。

●秋葉教育課長 児童生徒の通学に係りますスクールバスの委託料の関係でございます。平成 22 年度につきましては、南部地区の児童・生徒がそれぞれ夕張中学校及び清水沢小学校にまず通う部分、これがスクールバスの運行をしてました。それからもう

1 カ所、若菜中央小学校に富野地区の児童が通学をしていたという事で昨年度は 450 万 8,000 円ほど計上していたところですが、小学校の一元化に伴いまして富野線という路線が、富野地区を中心とするお子さんが新しいゆうばり小学校に通う事になります。当然距離が延びるという事でこの部分を増額をして 45 万ほどですか、増額をして計上しているところでございます。

以上です。

●角田委員長 よろしいですか。

島田委員。

●島田委員 もう一点お願いします。117 ページ教育振興費、児童通学費給付費なんですけど、これも小学校一元化によるバス通学が始まるという事で 900 万ほど増加しております。あとちょっと関連して中学校の方ですが、昨年度の予算より 200 万程減額となっておりますが、これは生徒の減少によるものなのか、その辺とあと小学校で総体で 1,080 万程、中学校ちょっと生徒少ないんですけど、1,160 万程、これはやっぱり子供料金と大人料金という理解でよろしかったでしょうか。

●角田委員長 課長。

●秋葉教育課長 117 ページの教育振興費、扶助費で児童通学費給付費と 1,084 万 6,000 円計上しております。これは児童のバス通学に関わりますバス定期代という事でございます。中学校につきましては、生徒数は小学生よりは少ないんですけども、児童の場合はバスの定期の割引率が小学生は半額という事で額が中学校費に比べて小学校費が少ないというような形になっています。

以上です。

●角田委員長 よろしいですか。ほかに教育費ございますか。進みます。

10 款公債費、126 ページ。

〔発言する者なし〕

11 款諸支出金、127 ページ。

〔発言する者なし〕

12 款予備費、128 ページ。

〔発言する者なし〕

次に、職員手当等に入ります。130 ページから 131 ページまででありますので、ご覧願います。

次に、歳入に入ります。

10 ページをお開き願います。

1 款市税、15 ページまでであります。

〔発言する者なし〕

2 款地方譲与税、16 ページから 17 ページまで。

〔発言する者なし〕

3 款利子割交付金、18 ページ。

〔発言する者なし〕

4 款配当割交付金、19 ページ。

〔発言する者なし〕

5 款株式等譲渡所得割交付金、20 ページ。

〔発言する者なし〕

6 款地方消費税交付金、21 ページ。

〔発言する者なし〕

7 款自動車取得税交付金、22 ページ。

〔発言する者なし〕

8 款地方特別交付金、23 ページ。

〔発言する者なし〕

9 款地方交付税、24 ページ。

〔発言する者なし〕

10 款交通安全対策特別交付金、25 ページ。

〔発言する者なし〕

11 款分担金及び負担金、26 ページ。

〔発言する者なし〕

12 款使用料及び手数料、27 ページから 30 ページまで。

〔発言する者なし〕

13 款国庫支出金、31 ページから 34 ページまで。

〔発言する者なし〕

14 款道支出金、35 ページから 39 ページまで。

〔発言する者なし〕

15 款財産収入、40 ページから 41 ページまで。

〔発言する者なし〕

16 款寄附金、42 ページ。

〔発言する者なし〕

17 款繰入金、43 ページから 44 ページまで。

〔発言する者なし〕

18 款繰越金、45 ページ。

〔発言する者なし〕

19 款諸収入、46 ページから 51 ページまで。

〔発言する者なし〕

20 款市債、52 ページ。

〔発言する者なし〕

次に、7 ページをお開き願います。第 2 表地方債が記載されておりますので、ご覧願います。

次に、1 ページをお開き願います。第 3 条に歳出予算の流用が記載されておりますので、ご覧願います。

次に、附属資料に入りますが、132 ページから 139 ページまでに給与費明細書が記載されておりますので、ご覧願います。

次に、債務負担行為に関する調書が 140 ページから 142 ページまで記載されておりますので、ご覧願います。

次に、地方債に関する調書であります。143 ページから次のページまで記載されておりますので、ご覧願います。

以上で一般会計の審査が終わりました。

●角田委員長 次に、国民健康保険事業会計に入ります。

145 ページから 191 ページまで一括して審査を行います。

〔発言する者なし〕

ないようでありますから、国民健康保険事業会計の審査を終わります。

●角田委員長 次に、市場事業会計に入ります。

192 ページから 203 ページまで一括して審査を行います。

〔発言する者なし〕

ないようでありますから、市場事業会計の審査を終わります。

●角田委員長 次に、公共下水道事業会計に入ります。

104 ページから 126 ページまで一括して審査を行います。

〔発言する者なし〕

ないようでありますから、公共下水道事業会計の審査を終わります。

●角田委員長 次に、介護保険事業会計に入ります。

227 ページから 272 ページまで一括して審査を行います。

〔発言する者なし〕

ないようでありますから、介護保険事業会計の審査を終わります。

●角田委員長 次に、診療所事業会計に入ります。
273 ページから 285 ページまで一括して審査を行います。

高橋委員。

●高橋委員 市立診療所の建設基本委託料の関係、これページ数でいきますと 283 ページになるのでしょうか。昨日、大綱的な質疑で今後の市立診療所のあり方、基本的な考え、基本設計に伴う今後のあり方含めていろいろと議論させていただきました。いろいろ答弁が一転二転しましたけれども、最終的には現時点でのお考え、また基本設計に伴ういわゆるそれを想定する中での現時点での考えという事での回答をいただきましたから、この部分については私どもとしても理解を示したところでございます。

それで一つ聞きたいのは、こんにちまで行政側も含めて改築検討委員会の中でもってという事で常々おっしゃられてきている経過がございます。それで、私思うんですが改築検討委員会の現メンバー構成の方々にも、昨日のようなやりとりの中で特に場所の問題なんかは誤解を招いてる方もいるのではないかと

と思いますので、これやはり昨日のような回答でまとめた以上は早急にやっぱり改築検討委員会の方々にも少なくとも今の現時点での市の方針、考えというものは示すべきだと私は考えるんですけども、この辺のお考えちょっとお聞かせいただければと思います。

●角田委員長 福祉課長。

●池下福祉課長 今後についてもいろいろ改築検討委員会の委員の皆さまにもご説明ないし、ご検討のお知恵も拝借しなきゃならない部分もあると思いますので、その部分についても含めてご説明させていただきたいと思っております。

●角田委員長 高橋委員。

●高橋委員 今後については勿論これから特に基本設計云々も入っていくでしょうし、いろんな関わりの中で医師会の皆さんとの連携強化っていうのは当然必要になってくると思いますので、これは勿論今後より一層そういった関係性というか、充実した体制づくりっていうのは必要だと思います。ただ、昨日のあれだけのやりとりをした経過がございますので、特に場所の問題を含めて私が今言っているのは、現に場所の問題一つ取っても改築検討委員会のメンバーの皆さんにも、それまでの方向性がやっぱりそういう方針で誤解をされた表現で映られているのではないかなというふうに懸念するものですから、この辺は昨日通りのやっぱり現時点での市の方針というか考え、こういう事で現時点では南清水沢を示しているんだよっという事をきちんと伝えていただかなければいけないのではないかなと思うんですけども、この辺をちょっとお聞かせいただければと思っております。

●角田委員長 課長。

●池下福祉課長 その辺も含めて現時点までの部分も含めてご説明させていただきたいと思っております。

●角田委員長 よろしいですか。ほかに診療所。
加藤委員。

●加藤委員 279 ページなんですけど、物品売払収入の 120 万ですか、これの中身についてお知らせ

願います。

●角田委員長 室長。

●石原地域再生推進室長 お答えします。

120 万の内訳ですけれども、月 10 万円の 12 カ月で 120 万という事で計上しております。それで、23 年の 2 月まで入っておりますので、この時点での残額は 190 万となっております。従いまして、これまでの支払済額は 253 万 8,911 円という事で、総額につきましては 443 万 8,911 円という事で当初から支払計画がなされております。

以上でございます。

●角田委員長 もう一度確認しますか。今 120 万のいわゆる物品売り払いのところの説明をしたんですね。

●石原地域再生推進室長 はい。内容ですか。内容につきましては旧、元の総合病院、これが保持していた薬品、これを市立診療所に 19 年ですか、4 月から移管したわけですけれども、この総合病院の薬品を市立病院が使用するための、買ったといいますが、わかりやすくいえば総合病院の薬品を購入したその代金という事になります。

以上です。

●角田委員長 よろしいですか。ほかに診療所会計ございますか。進みます。

●角田委員長 次に、後期高齢者医療事業会計に入ります。

286 ページから 305 ページまで一括して審査を行います。

〔発言する者なし〕

ないようでありますから、後期高齢者医療事業会計の審査を終わります。

●角田委員長 次に、水道事業会計に入ります。

1 ページから 20 ページまで一括して審査を行います。

〔発言する者なし〕

ないようでありますから、水道事業会計の審査を

終わります。

●角田委員長 次に、各会計予算が終わりましたので、議案の審査に入ります。

議案第 16 号、議案第 18 号、議案第 20 号、一括して質疑を受けます。

〔発言する者なし〕

●角田委員長 以上ですべての審査が終わりでしたので、取りまとめに入ります。

本会議に報告する委員長の口頭並びに文書報告の文案につきましては、正副委員長にご一任願いたいと存じますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

特に異議がありませんので、正副委員長にご一任願います。

なお、委員長の口頭並びに文書報告につきましては、この会議の全文が会議録に登載されますので、結果のみの報告といたすこととしておりますので、あらかじめお含みおき願います。

次に、採決に入ります。

議案第 1 号ないし議案第 8 号、議案第 16 号、議案第 18 号、議案第 20 号の 11 議案については、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議がありませんので、本 11 議案については全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

●角田委員長 これで付託議案に関する審査が終了いたしました。この場合、地域再生推進室長並びに総務課総括主幹から報告したい旨の申し出がありますので、これを許してまいります。

室長。

●石原地域再生推進室長 一件ご報告申し上げます。平成 22 年度特別交付税交付額について報告いたします。3 月交付額が 3 月 18 日に決定をされ、夕張

市は 11 億 8,016 万円で前年度対比 1 億 2,579 万 2,000 円マイナス 9.6 パーセントとなったところでございます。また、12 月交付額との総額では 15 億 8,396 万 5,000 円で前年度対比 1 億 5,051 万 2,000 円 10.5 パーセントの増額でございます。なお、財政再生計画との比較におきましては 2,525 万 2,000 円の増額となりました。

以上です。

●角田委員長 総務課総括主幹。

●三浦総務課総括主幹 例年本席におきまして、地方税法と改正法案についてご説明をさせていただいておりますので、本年の状況についてお知らせをさせていただきます。

現在国において、地方税法と改正法案について 2 月 15 日に衆議院総務委員会に付託された後、質疑等の審議が行われておらず先行きが不透明な状態となっていたところ、東北地方太平洋沖地震が発生した事により期限延長法案について協議が進められている状況にあります。この繋ぎ法案は平成 23 年 3 月 31 日に期限が到来する全税目の特例措置について、その期限を 6 月 30 日まで延長するものとの事でございますが、具体的な見通しは立っていない状況でございます。

これらの国の動向によっては市税条例の改正等の措置は必要となる可能性があります。夕張市といったしましてはこれらの対応が必要となった場合には速やかに対応するため、専決処分にて処理をさせていただきたいと考えておりますのでよろしくご了承を賜りますようお願い申し上げます。

以上です。

●角田委員長 ただいまの報告に対し特に質問があれば、これを受けてまいります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでありますから、報告に対する質疑を終わります。

●角田委員長 これをもって行政常任委員会を終わります。

ご苦労さまでした。

午前 1 1 時 2 7 分 閉会

夕張市議会委員会条例第 24 条第 1 項の規定により、ここに署名する。

夕張市議会行政常任委員会

委 員 長 _____